

第 20 期将来計画委員会提言「年会の開催方針について」

本学会の目的は、広く一般市民に対し、分子生物学に関する研究・教育を推進するための学術研究及び普及啓発活動を行い、我が国におけるライフサイエンスの進歩に寄与することである。この目的を達成するため、年会の開催方針を以下とする。

1. 学際的立場に立脚した生命科学研究の発表・議論の場を提供することを目指し、原則として、本学会が主体となって年会を開催する。
2. 他学会との年会開催協力は今後も継続するが、その実施形態については、相手学会の規模や連携目的等に応じて柔軟に対応する。協賛や特定のセッションのみの合同開催等、従来の合同年会以外の実施形態についても検討する。
3. 他学会から共同開催や協賛等の申し入れがあった場合は、執行部と年会長でそのメリット・デメリットについて学問的な側面のみならず、予算規模・事務局負担など運営上の問題についても検討した上で方針を決定し、理事会の承認を得るものとする。
4. 年会で継続的に実施する事項については理事会で「年会開催ルール細目」を定める。
5. 年会長は上記各項目をふまえつつ、自由な発想に基づいた年会運営を行う。

《第 20 期将来計画委員会（執行部）》

杉本亜砂子（理事長）、小林武彦（副理事長）、小安重夫（副理事長）、
稲田利文（理事/庶務幹事）、深川竜郎（庶務幹事）、塩見春彦（理事/広報幹事）

2018 年 9 月 14 日
第 20 期理事会承認